【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年5月23日(2023.5.23)

【国際公開番号】WO2020/250112
【公表番号】特表2022-536458(P2022-536458A)
【公表日】令和4年8月17日(2022.8.17)
【年通号数】公開公報(特許)2022-150
【出願番号】特願2021-570313(P2021-570313)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　1/02(2006.01)
Ａ２４Ｄ　1/20(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/42(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/465(2020.01)
Ａ２４Ｂ 15/16(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　1/02
Ａ２４Ｄ　1/20
Ａ２４Ｆ 40/42
Ａ２４Ｆ 40/465
Ａ２４Ｂ 15/16

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月15日(2023.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアロゾル発生物品であって、
ニコチンを含み、かつ少なくとも１０重量％のエアロゾル形成体を含むエアロゾル発生基体と、
前記エアロゾル発生基体の周りに配置されたラッパーであって、少なくとも３０度の水接触角を有する紙層を備えるラッパーと、を備える、エアロゾル発生物品。
【請求項２】
前記紙層が、少なくとも４０度の水接触角、または少なくとも４５度の水接触角を有する、請求項１に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項３】
前記紙層が、約２５ｇｓｍ～約４５ｇｓｍの範囲内の坪量と、約３５マイクロメートル～約５０マイクロメートルの範囲内の厚さとを有する、請求項１～２のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項４】
前記紙層が、ＰＶＯＨまたはシリコンを含む、請求項１～３のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項５】
前記紙層が、ＰＶＯＨまたはシリコンを含む表面処理を含む、請求項１～４のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項６】

前記紙層が、ＰＶＯＨを含む、請求項１～５のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項７】
前記紙層が、シリコンを含む、請求項１～６のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項８】
前記エアロゾル発生基体が、ゲル組成物を含む、請求項１～７のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項９】
前記ゲル組成物が、大量のグリセリンを含む、請求項８に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１０】
前記ゲル組成物が、キサンタンガムを含む、請求項９に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１１】
前記エアロゾル発生基体が、均質化したたばこ材料を含む、請求項１～１０のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１２】
前記均質化したたばこ材料が、たばこ材料と、約１パーセント～約５パーセントの結合剤と、約５パーセント～約３０パーセントのエアロゾル形成体とを乾燥重量基準で含む、請求項１１に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１３】
前記エアロゾル発生基体が、金属誘導発熱体を含む、請求項１～１２のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１４】
前記エアロゾル発生基体が、複数の金属誘導発熱体を含む、請求項１～１３のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１５】
前記紙層が、前記エアロゾル発生基体と直接接触している、請求項１～１４のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。